

## 船舶事故調査報告書

平成26年11月13日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 庄司邦昭（部会長）  
 委員 小須田 敏  
 委員 根本美奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成26年7月21日 06時30分ごろ～07時00分ごろの間）
発生場所	不明（千葉県木更津市木更津港付近）
事故調査の経過	<p>平成26年7月25日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。</p> <p>原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。</p>
<b>事実情報</b> 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 <sup>いしよし</sup> 石義丸、4.72トン CB3-58371（漁船登録番号）、個人所有 11.69m (Lr) × 2.54m × 0.71m、FRP ディーゼル機関、58.84kW、昭和49年3月 第232-38439号（船舶検査済票の番号）
乗組員等に関する情報	船長 男性 65歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成11年7月5日 免許証交付日 平成26年6月26日 （平成31年7月4日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、平成26年7月21日05時30分ごろ、木更津港の中の島大橋付近の棧橋を出発した。</p> <p>漁業協同組合（以下「本件組合」という。）は、07時00分ごろ、所属漁船から、木更津港防波堤の北方に人が乗っていない船が走っているとの連絡を受け、本件組合関係者が船を出して無人状態の本船を発見した。</p> <p>本件組合は、海上保安部へ連絡を行い、海上保安部及び本件組合関係者が、船長の捜索を行った。</p> <p>船長は、24日06時00分ごろ、捜索を行っていた本件組合関係者によって、木更津航空基地の西方で漂流しているところを発見されて病院へ搬送され、溺死と検案された。</p>
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東～東南東、風力 1～2 海象：波高 0.30～0.35m、水温 約24℃

<p>その他の事項</p>	<p>本船は、機関が運転され、最微速力前進で航行しているところを発見され、船尾甲板上に底引き網漁の漁具を搭載し、漁網の先端部の魚を捕獲する部分が開放されていて、船内には漁獲物がなく、他船と衝突したような痕跡は見られなかった。</p> <p>本船の船尾部は、漁網の揚げ降ろし等が容易なように、船尾甲板のブルワークが低い構造となっていた。</p> <p>本船及び船長は、21日06時30分ごろ、僚船により目撃されていた。</p> <p>船長は、約6年前に底引き網漁を始めたが、その後間もなく本件組合の役員に就任し、その間は操業を行っておらず、漁業の経験がほとんどなかった。</p> <p>船長は、本件組合関係者等から、出漁する際には、経験者と一緒に出漁するように常々言われており、本事故時が役員を退任してから初めての出港であった。</p> <p>船長は、発見時、救命胴衣を着用していなかった。</p> <p>本件組合関係者は、船長が、本件組合に底引き網漁に必要な資材を注文し、業者に漁労機械を整備させるなどしており、また、発見時にカッパを着用しておらず、漁網の先端部が開放されていたことから、底引き網漁を再開しようとして漁具等の様子を見るために出港したものだと思った。</p> <p>船長は、発見時、目立った外傷は見られず、本事故時、健康状態に問題はなく、高血圧や心臓病等の持病はなかった。</p>
<p><b>分析</b></p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>不明 不明 不明</p> <p>船長は、溺死した。</p> <p>本船は、木更津港の中の島大橋付近の棧橋を出港した後、21日06時30分ごろ船長共々僚船により目撃され、07時00分ごろ無人の状態で行っているところを発見されたことから、この間において、船長が落水したと考えられるが、落水に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
<p><b>原因</b></p>	<p>本事故は、本船が、木更津港の中の島大橋付近の棧橋を出港した後、船長が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>
<p><b>参考</b></p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救命胴衣を着用すること。</li> <li>・出漁する際には、防水型携帯電話などを所持すること。</li> <li>・一人乗りの漁船では、エンジン非常停止装置等を装備することが望ましい。</li> </ul>